

○水生生物モニタリング調査結果一覧（真野川D）

<真野川D 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
D-4 a	○	○	○	○	○	○

<真野川D 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)		
D-4 a	37.7308°	140.9081°	R4. 8. 18	08:42	08:47	19.7	20.1	砂	10YR4/3	無	0.21	>50		

<真野川D 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
D-4 a	37.7308°	140.9081°	R4. 8. 18	08:42	7.0	<0.5	2.5	8.8	9.7	0.08	1.1	2	1.3	N. D. (0.0014)	0.014	0.00081

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<真野川D 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
D-4 a	37.7308°	140.9081°	R4. 8. 18	08:47	7.8	441	19.3	1.8	2.4	2.690	29.4	41.5	14.1	4.6	4.9	5.5	1.3	9.5	2.8	110	0.55

注) N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<真野川D 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
D-4 b	真野川本流	37.7312°	140.9096°	R4. 8. 18	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.0060	—	—	—	54	N. D. (8.9)	54	—	
					藻類・植物	接合藻	ホシド ^ロ	ホシド ^ロ	<i>Spirogyra</i> sp.	アオミドロ属	—	0.31	—	—	—	—	4.1	N. D. (0.33)	4.1	—
					節足動物	昆虫	トンボ	エ ^ノ トンボ	<i>Macromia amphigena amphigena</i>	コヤマトンボ	80	0.025	幼虫 (ヤゴ)	—	—	5.1	N. D. (1.5)	5.1	—	
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ										
					節足動物	昆虫	トンボ	オジロトンボ	<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	オナガトンボ	<i>Meligomphus viridicostus</i>	オナガサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Sieboldius albardae</i>	オニヤンマ										
					節足動物	昆虫	トンボ	オナガトンボ	<i>Davidius</i> sp.	ダビドサナエ属										
					節足動物	昆虫	トンボ	ホンサナエ	<i>Shaogomphus postocularis</i>	ホンサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	ヤマサナエ	<i>Asiagomphus melaenops</i>	ヤマサナエ										
					節足動物	昆虫	トンボ	ヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i>	コシボソヤンマ										
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ										
					節足動物	軟甲	エビ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	アメリカザリガニ	3	0.073	成体	—	—	7.2	N. D. (1.2)	7.2	—	
					節足動物	軟甲	エビ	スジエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	55	0.066	成体	—	—	3.4	N. D. (0.74)	3.4	—	
					節足動物	軟甲	エビ	ヌカエビ	<i>Paratya improvisa</i>	ヌカエビ	320	0.069	未成体/成体	—	—	3.7	N. D. (0.84)	3.7	—	
					節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	モクスガニ	17	0.48	未成体	—	—	4.8	N. D. (0.90)	4.8	—	
					脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	3	1.2	成魚	魚類	内臓除去	17	N. D. (1.2)	17	0.097	
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	カサガ	<i>Cottus reinii</i>	ウツセミカジカ	3	0.10	未成魚	—	—	5.0	N. D. (0.64)	5.0	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	8	0.17	未成魚/成魚	—	—	7.2	N. D. (0.93)	7.2	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Opsariichthys platypus</i>	オイカワ	150	0.42	未成魚	—	—	6.2	N. D. (0.66)	6.2	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	カマツカ	9	0.13	未成魚/成魚	—	—	6.9	N. D. (1.1)	6.9	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>	タモロコ	4	0.022	未成魚/成魚	—	—	5.5	N. D. (1.8)	5.5	—	
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	トシヨウ	<i>Cobitis biwae</i>	シマドジョウ	35	0.084	未成魚/成魚	—	—	4.8	N. D. (0.77)	4.8	—	
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	アユ	123	1.7	未成魚/成魚	—	—	15	N. D. (1.1)	15	0.25	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ	2	0.034	未成魚	—	—	12	N. D. (1.3)	12	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	119	0.32	成魚	—	—	5.7	N. D. (0.69)	5.7	—	
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>	シマヨシノボリ										
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius</i> sp.	ヨシノボリ属										
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	キギ	<i>Tachysurus tokiensis</i>	ギバチ	1	0.025	成魚	—	—	4.3	N. D. (1.4)	4.3	—	
					脊椎動物	両生	無尾	アマガエル	<i>Rana japonica</i>	ニホンアマガエル	3	0.0099	成体	—	—	4.2	N. D. (2.7)	4.2	—	
					脊椎動物	両生	無尾	アマガエル	<i>Hyla japonica</i>	ニホンアマガエル										
					粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	0.26	—	—	—	16	N. D. (1.1)	16	—	

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名で下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。